

平成26年度

全国学力・学習状況調査の
結果について



海老名市立海老名中学校

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「数学に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「生徒質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5
(資料) 指導や学習・生活習慣と学力との関係	P. 6



全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査（平成23年度は震災の関係で実施を中止）でしたが、昨年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・ 小学校第6学年
- ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

国語A・算数A（主として「知識」に関する問題）

国語B・算数B（主として「活用」に関する問題）

【中学校】

国語A・数学A（主として「知識」に関する問題）

国語B・数学B（主として「活用」に関する問題）

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成26年4月22日（火）



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 登場人物の心情や行動に注意して読むことや、文章全体と部分との関係を考えて内容を理解することは、相当数の生徒ができています。「読むこと」に関する他の設問からも、文章の内容理解についての安定した力が窺えます。
- 文脈に即して漢字を正しく読んだり書いたりすることや、語句の意味を理解し文脈の中で適切に使うことは、相当数の生徒ができていることから、言語に関する基礎的・基本的な知識の定着が図られています。

《努力を要する所》

- 目的に応じて、資料を効果的に活用して話すことに課題があります。内容や場に応じて資料や機器等を効果的に活用し、分かりやすく伝えるために工夫する力が不十分であると考えられます。
- 話合いの方向を捉えて司会の役割を果たすことに関して課題があります。司会が話合いの方向性や見通しをもって進行できるよう、討論等の言語活動を充実する必要があります。

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 標語における表現技法について理解することは、相当数の生徒ができています。詩や短歌などにおける表現技法に関する学習が生かされていると考えられます。
- 落語に登場する人物の言動の意味を考え、その姿を想像することは、相当数の生徒ができています。古典的な文章に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いを想像できていることが窺えます。

《努力を要する所》

- 資料から適切な情報を得て、事実や事柄が明確に伝わるように書くことや、根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題があります。意見文や感想文などを書く活動を通して、本や資料から得た情報を根拠として、正確に分かりやすく文章で表す力が求められます。
- 複数の資料を比較して読み、要旨を捉えることに課題があります。様々な文章の特徴を意識し、他と比べながら読む習慣を付ける必要があります。

今後の具体的な取組

- 短答式・記述式の設問に関しても無解答率が低かったことから、あきらめずに考え問題に取組もうとする姿勢が窺えます。国語に関する関心・意欲のさらなる向上を目指して、言語活動を効果的に取り入れた授業作りに努めます。
- 言語についての知識や技能の定着を図り、それらを活用して自分なりの考えをもち、説明したり意見を述べたりする学習場面を増やしていきます。
- 日常的に読書に親しみ、ものの見方や感じ方を広げ深めるとともに、本や文章などから目的に応じて必要な情報を収集する力を高めるために学校図書館の充実と活用を図ります。



数学に関する調査結果

数学 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 円柱や円錐の体積に関する問題では円錐の体積を、底辺が合同で高さが等しい円柱の体積と関連付けて、相当数の生徒が理解できています。
- 比例、反比例においては、グラフと表を関連付け比例の関係を式に表すことがよくできています。反比例の意味や特徴も理解力が高かったです。具体的な事象における2つの数量の関係も、比例として理解できています。
- 確率の意味合いを理解し、樹形図などを利用して、正確に確率を求めることができています。不確定な事象について考察し、表現することも十分に身に付けています。

《努力を要する所》

- 一次関数の変化の割合を、式から求めることの理解が不十分です。表やグラフ、式から意味を理解できることが課題です。
- 関数という言葉の意味が理解されていません。具体的な場面で活用できるよう練習が必要です。
- 度数分布表から相対度数を求める方法が十分に理解できていません。相対度数の意味を復習する必要があります。

数学 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 図形の証明について、構想を立てて証明することや、その証明を振り返って考えることがとてもよくできています。
- 偶数の四則計算では、与えられた説明の筋道を読み取り、反例をあげて説明することができています。
- グラフの傾きや交点の意味を解釈し、数学的に説明することがよくできています。

《努力を要する所》

- 数量の関係を数学的に説明する問題では、正答率は高かったものの、無解答率が他の問題と比べると高い状況でした。文章の読み取りを苦手とし、問題を解こうとする意欲が低い生徒が見られました。
- 不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができていない生徒が見られました。与えられた情報の分類整理においては課題があります。

今後の具体的な取組

- 数量の説明や合同な図形の証明など、記述して説明することを反復して行い、証明のパターンと方法を十分に理解させていきます。
- 基本的な計算を反復し、できることへの達成感の向上を図り、学習意欲を高めることを指導していきます。さらに応用問題への取り組みや補習などを継続させ、理解が不十分な生徒へは、つまずきの分析から具体的な働きかけをしていきます。
- 相対度数の必要性和意味を理解させ、資料の傾向を読み取る活動を多く取り入れていきます。また、不確定な事象の起こりやすさを判断し、その理由を説明する活動を、今後さらに充実させていきます。



生徒質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

- 宿題によく取り組み、予習にも力を入れている生徒が多く見られます。
- 国語の勉強では、好きだと答えた割合が高く、よく分かると答えた生徒も多く見られます。
- 数学の勉強では、好きだと答えた割合が高く、よく分かると答えた生徒が、全国と比べ15%近くも上回っています。
- 授業以外での勉強時間と休みの日の勉強時間では、3時間以上と答えた割合が、全国の2倍近くに達しています。

《課題と思われる所》

- 復習をしていると答えた生徒は、全国と比べると7%ほど低い結果でした。他の習い事との関係も考えられます。
- 説明文や感想文を書くのは難しいと思っている生徒が、全体の7割近くいます。
- 国語の勉強が大切だと思っている生徒が、全国よりもやや低い状況でした。
- 数学の授業では、公式やきまりを習うとき、その根拠をいつも理解しようとする生徒は全国に比べ5.7%低い結果でした。

生活について

《よかった所》

- 基本的な生活習慣については、きちんと生活できている生徒が多く見られます。
- 規範意識がとても高く、95.5%の生徒が守っていると答えています。
- 「自分には良い所がある」では、あると答えた生徒が多く、全国より6.7%も上回っていました。自尊意識は全体的に高い状況でした。
- 「自分には良い所がある」では、あると答えた生徒が多く、全国より6.7%も上回っていました。自尊意識は全体的に高い状況でした。

《課題と思われる所》

- 「失敗を恐れなくて挑戦している」では、していると答えた生徒が全国と比べると低い結果でした。慎重さの反面、新しいことや慣れないことに挑戦することを躊躇しがちな傾向が見られます。
- 「悩みは誰に相談しますか」では、先生や友人に対しての相談が、全国と比べて少ない状況でした。
- 地域行事への参加については、関心はあるが、参加していると答えた生徒は、全国と比べ10%近く低い結果でした。

今後の具体的な取組

- 授業の最初に本時の学習目標を明確に伝え、目的意識をもった授業参加と、授業の最後に学習内容の振り返りができるように指導していきます。
- 言語活動の充実を図るため、各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動を通して、発言する機会や友達の話聞いて考える活動時間を、多く取り入れていきます。
- 携帯電話やスマートフォン、ゲームについて、利用時間が多くなならないよう呼びかけ、使用の仕方を考えさせる指導を保護者の方とともに進めていきます。
- 学校生活全体を通して、生徒の悩みに応えていける人間関係を築き、きめ細かい生徒理解に努めていきます。



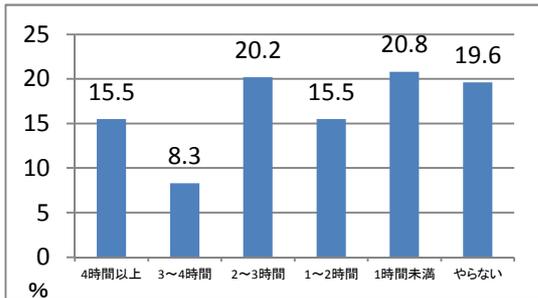
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

1 ゲームの時間を少なくしていきましょう。

TVゲームは少なくなってきましたが、携帯ゲームは内容も多様化してきています。

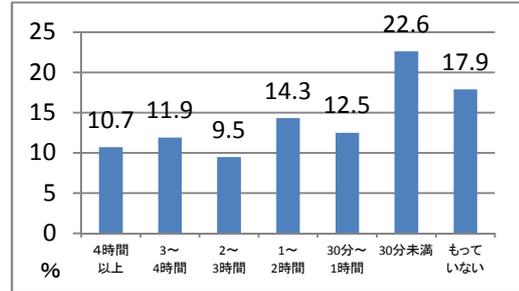
TVゲームや携帯ゲームの利用時間は



2 メールやインターネットの使用時間を決めましょう。

メールやラインについても、遅い時間に使用し使用時間も多くなってきています。

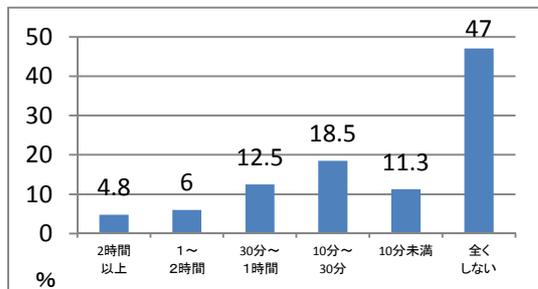
メールやインターネットの利用時間は



3 読書に親しみ、自分の世界観を広げましょう。

学生時代の読書は人生の宝になります。好きなことや趣味の世界を広げてみましょう。

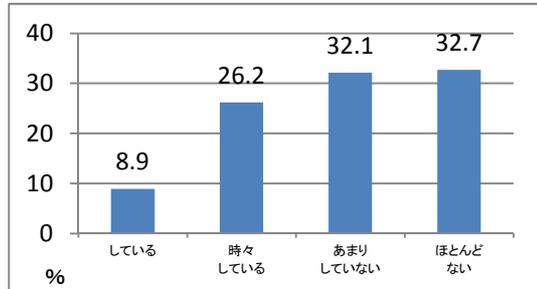
平日に授業以外の読書時間は



4 地域の行事に参加して、地域に親しみ出合いを大切にしましょう。

地域の行事に参加すると、地域を知り、人との触れあいも多くなってきます。

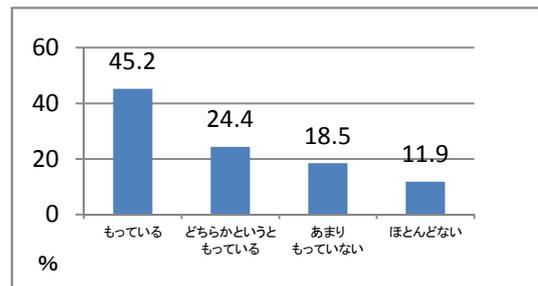
地域の行事に参加していますか



5 夢や目標を大切にできる生き方を心がけましょう。

なりたい自分を考えて生きていくことは、人生のエネルギーになっていきます。

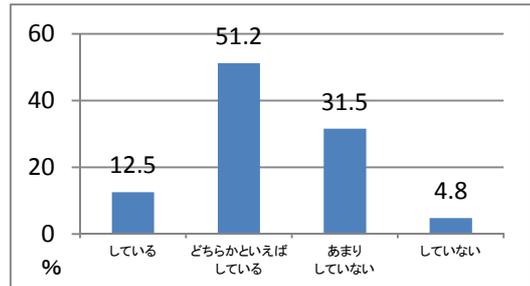
将来の夢や目標をもっていますか



6 失敗を成功の糧にして取り組んでみましょう。

失敗を恐れて行動しないと、いろんなチャンスを逃してしまいます。チャレンジをしてみよう。

失敗を恐れなくて挑戦していますか



資料

指導や学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ており、今後の指導や家庭・地域への呼びかけに生かして行きたいと考えています。

学校における指導と学力との関係

次のような指導を行った学校ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。
さらに、学習意欲や家庭での学習時間等についても高い傾向にある。
(教科に関する調査、学校質問紙調査より)

【指導方法・学習規律】

- ・ 学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞くなど)の維持徹底
- ・ 学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導
- ・ 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与える
- ・ 本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導

【国語科・数学科の指導方法】

- ・ 発展的な学習の指導
- ・ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業、書く習慣を付ける授業、様々な文章を読む習慣を付ける授業
- ・ 数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業

【言語活動】

- ・ 各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付ける
- ・ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導
- ・ 発言や活動の時間を確保した授業
- ・ 学級やグループで話し合う活動
- ・ 資料を使って発表ができるよう指導
- ・ 自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導

【総合的な学習の時間】

- ・ 総合的な学習の時間における探究活動(課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導)

【家庭学習】

- ・ 調べたり文章を書いたりする宿題を与える

【研修】

- ・ 教職員が、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映

生徒の学習・生活習慣と学力との関係

次のような生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。
(教科に関する調査、生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・ 国語、数学に対する関心・意欲・態度が高い

【家庭学習・読書】

- ・ 学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・ 自分で計画立てて勉強をする
- ・ 学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・ 読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【学校生活】

- ・ 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある
- ・ 先生は、自分のよいところを認めてくれると思う

【基本的生活習慣】

- ・ 朝食を毎日食べる
- ・ 毎日、同じぐらいの時刻に寝る

【メディアとの関係】

- ・ 携帯電話やスマートフォンで通話・メール・インターネットをする時間が短い
- ・ テレビゲームをしている時間が短い

【家庭でのコミュニケーション等】

- ・ 家の人と学校での出来事について話をする
- ・ 家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【社会に対する興味・関心】

- ・ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある
- ・ 新聞を読んでいる
- ・ テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る

【自尊意識・規範意識】

- ・ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・ 学校のきまり・規則を守っている
- ・ 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う



平成26年12月